



平成30年3月13日

各 位

会社名 株式会社ファルテック
代表者名 代表取締役社長 横田 昭治
(コード番号 7215 東証第1部)
問合せ先 常務執行役員 北原 正裕
(TEL 044-520-0290)

(訂正・数値データ訂正)「平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正
について

当社は、平成29年8月9日に開示いたしました「平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(平成30年3月13日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は_____線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月9日

上場会社名 株式会社ファルテック 上場取引所 東
 コード番号 7215 URL <http://www.faltec.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 昭治
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 北原 正裕 TEL 044 (520) 0290
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	20,015	3.5	199	-	197	-	△25	-
29年3月期第1四半期	19,340	3.3	△230	-	△391	-	△453	-

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 △165百万円 (-%) 29年3月期第1四半期 △937百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	△2.70	-
29年3月期第1四半期	△48.72	-

(注) 1. 平成29年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2. 平成30年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	58,813	17,813	27.4	1,716.46
29年3月期	59,860	18,387	27.9	1,787.12

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 16,016百万円 29年3月期 16,550百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	43.33	43.33
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	43.33	43.33

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,700	△1.0	2,300	44.6	2,200	54.4	500	14.7	53.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

連結業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当第1四半期連結累計期間における新株予約権の行使による発行済株式数の増加を加味して算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、 除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	9,378,600株	29年3月期	9,333,300株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	624株	29年3月期	624株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	9,333,174株	29年3月期1Q	9,317,976株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く経営環境は、海外の政治情勢不安や中国を中心とした新興国における成長鈍化による不透明感が残っているものの、堅調に推移する欧米経済に支えられ、総じて緩やかな回復基調で推移しました。

また国内の景気についても緩やかな回復基調にあり、当社グループの属する自動車業界の概況は国内四輪車生産台数及び販売台数共に前年同期を上回る結果となりました。

このような情勢の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は、国内における新商品の納入増効果等により20,015百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

営業利益は、日本セグメント及び北米他セグメントの合理化効果等により199百万円（前年同期は230百万円の営業損失）となりました。

経常利益は、営業利益増に加え前年同期に為替差損が155百万円計上されたのに対し、当第1四半期連結累計期間は為替差損が2百万円に減少したこと等により197百万円（前年同期は391百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は25百万円（前年同期は453百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

（日本）

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、国内四輪車生産台数及び販売台数の増加に伴う納入増及びミリ波レーダーカバー等の新商品納入増により14,822百万円（前年同期比10.2%増）となりました。

セグメント利益は、操業度増効果及び合理化効果等により155百万円（前年同期は166百万円のセグメント損失）となりました。

（アジア）

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、円高による為替換算の影響等により2,490百万円（前年同期比12.2%減）となりました。

セグメント利益は、材料市況影響等により164百万円（前年同期比41.6%減）となりました。

（北米他）

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、円高による為替換算の影響等により2,703百万円（前年同期比11.6%減）となりました。

セグメント損失は、英国子会社の新車立上げ費用増の解消等により125百万円（前年同期は382百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ1,047百万円減少し、58,813百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が1,769百万円減少し、商品及び製品が190百万円増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ473百万円減少し、41,000百万円となりました。これは主に、長期借入金が635百万円、賞与引当金が480百万円、支払手形及び買掛金が472百万円減少し、短期借入金が1,030百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ574百万円減少し、17,813百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が384百万円、配当金の支払い等により利益剰余金が429百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、当四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末と比べ0.5ポイント減少し、27.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成29年5月12日の「平成29年3月期 決算短信」で公表致しました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,108	6,174
受取手形及び売掛金	18,052	16,282
商品及び製品	2,809	3,000
仕掛品	585	623
原材料及び貯蔵品	2,343	2,489
繰延税金資産	875	855
その他	1,559	1,728
貸倒引当金	△16	△16
流動資産合計	32,317	31,137
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,213	6,213
機械装置及び運搬具(純額)	5,373	5,268
工具、器具及び備品(純額)	1,301	1,379
土地	6,953	6,981
リース資産(純額)	1,750	2,009
建設仮勘定	1,810	1,678
有形固定資産合計	23,404	23,531
無形固定資産	1,057	1,012
投資その他の資産		
投資有価証券	1,439	1,584
繰延税金資産	1,310	1,252
その他	337	301
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	3,081	3,132
固定資産合計	27,542	27,675
資産合計	59,860	58,813

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,955	9,483
電子記録債務	3,592	3,472
短期借入金	2,585	3,616
1年内返済予定の長期借入金	2,670	2,606
リース債務	1,110	1,291
未払法人税等	207	258
賞与引当金	831	350
課徴金引当金	234	229
その他	4,376	4,605
流動負債合計	25,563	25,914
固定負債		
長期借入金	6,711	6,075
リース債務	513	604
退職給付に係る負債	7,320	7,078
持分法適用に伴う負債	19	15
再評価に係る繰延税金負債	1,007	1,007
その他	336	303
固定負債合計	15,909	15,085
負債合計	41,473	41,000
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,265	2,291
資本剰余金	583	609
利益剰余金	10,616	10,186
自己株式	△0	△0
株主資本合計	13,465	13,086
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	788	888
繰延ヘッジ損益	△1	△1
土地再評価差額金	1,935	1,935
為替換算調整勘定	1,853	1,468
退職給付に係る調整累計額	△1,363	△1,282
その他の包括利益累計額合計	3,213	3,010
非支配株主持分	1,708	1,716
純資産合計	18,387	17,813
負債純資産合計	59,860	58,813

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	19,340	20,015
売上原価	16,692	17,350
売上総利益	2,647	2,665
販売費及び一般管理費	2,878	2,466
営業利益又は営業損失(△)	△230	199
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	24	18
持分法による投資利益	10	4
その他	13	27
営業外収益合計	52	53
営業外費用		
支払利息	50	33
為替差損	155	2
その他	7	19
営業外費用合計	213	55
経常利益又は経常損失(△)	△391	197
特別損失		
減損損失	55	-
特別損失合計	55	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△446	197
法人税等	△35	178
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△410	19
非支配株主に帰属する四半期純利益	43	44
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△453	△25

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	<u>△410</u>	<u>19</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△87	100
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	<u>△265</u>	<u>△421</u>
退職給付に係る調整額	105	81
その他の包括利益合計	<u>△248</u>	<u>△239</u>
四半期包括利益	<u>△659</u>	<u>△220</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△620</u>	<u>△228</u>
非支配株主に係る四半期包括利益	△38	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,446	2,835	3,058	19,340	-	19,340
セグメント間の内部売上高 又は振替高	255	31	0	287	△287	-
計	13,702	2,867	3,058	19,628	△287	19,340
セグメント利益又は損失 (△)	△166	282	△382	△267	36	△230

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、売却予定の資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては55百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,822	2,490	2,703	20,015	-	20,015
セグメント間の内部売上高 又は振替高	224	24	14	262	△262	-
計	15,046	2,514	2,717	20,278	△262	20,015
セグメント利益又は損失 (△)	155	164	△125	195	4	199

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。